

## 臨床研究に関する公開情報

平成 30 年 6 月 21 日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなただが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

### <概要>

研究課題名：「尼崎総合医療センターにおける末梢カテーテル関連血流感染症と輸液の現状」

研究期間：2017年4月から2018年11月までを予定しています。

対象：2017年4月から2018年3月に兵庫県立尼崎総合医療センターにてカテーテル関連血流感染症と診断された患者さんのうち、末梢静脈しかルートのない患者さん。

研究目的：輸液内への細菌混入は、薬剤混注時やライン交換時等で生じ、カテーテル関連血流感染症の原因となることが知られている。そこで、当院の末梢カテーテル関連血流感染症の現状を調査する。また、低濃度糖加アミノ酸輸液の持続投与が *B. cereus* 菌血症のリスク因子であるとも報告されている。これに対して当院ではさまざまな取り組みを行っており、その効果についても調査する。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、検出菌、基礎疾患、使用輸液、使用ルート等があります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：

研究責任者：馬場 奈津美

兵庫県立尼崎総合医療センター 薬剤部  
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77  
TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001  
agmc-pharm-di@outlook.jp